

令和6年度 事務事業評価表

9068  
一般会計

事務事業名	地域防犯活動支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課	防犯対策強化推進係	阿部 亨

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・安全で安心して暮らせるまち		
	個別目標	暮らしの安全を守る		
	めざす成果	犯罪の不安を感じることなく暮らしている		
根拠法令	名 称	神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例		
	当該事業の法令等による義務付けの有無 有			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成08年度		設定無し	

2. 事務事業の概要					
対 象	大和市防犯協会、大和・綾瀬地区防犯協会連合会				
目 的	総事業費	(単位：千円)			
		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
手段、手法【実施手法：直営】	事業費	851	749	2,009	
	人件費	1,115	2,688	1,150	
成 果（効果・予測）	総事業費	1,966	3,437	3,159	
	7年度事業費（予算額）財源内訳				
課 題	国支出金			0	
	県支出金			0	
	市債			0	
	その他			0	
	一般財源			2,009	
		合 計		2,009	
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	重点地区防犯キャンペーン等参加人数		単位	人
	内容説明	地域安全活動重点地区における防犯キャンペーン等参加人数			
	指標値	5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	700	700	700
実 績	100	250	---		
活動指標 2	名称	地域防犯活動重点地区事業数		単位	回
	内容説明	地域安全活動重点地区における防犯関係事業の回数			
	指標値	5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	16	16	16
実 績	7	8	---		
活動指標 3	名称	子ども向け防犯教室開催数		単位	回
	内容説明	子どもを対象にした防犯教室を開催した回数			
	指標値	5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	15	17	17
実 績	16	16	---		
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値	5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定			
実 績			---		

4. 今後の方針等				
今後の方針等	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	6年度 Ⅱ：見直しのうえで継続			
・刑法犯認知件数や振り込め詐欺等の特殊詐欺発生件数を減少させるためには、市民一人ひとりの防犯意識の高揚と継続した地域でのパトロールや啓発活動等が必要であることから、今後も大和市防犯協会や自主防犯団体の活動が充実するよう支援を継続的に実施します。				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	市民の自主防犯意識の高揚には大和市防犯協会、自主防犯団体等の活動が有効であるため、市が関与する必要性が高いと考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。
	A	B	B	市民一人ひとりの防犯意識が高揚し、刑法犯認知件数・振り込み詐欺等の特殊詐欺発生件数の減少に繋がる効果的な啓発活動について検討が必要です。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	活動に必要な最低限の経費及び経費の一部を補助していることから、経費は適正であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	市内全域を対象としているため、受益の公平性は適正であると考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	防犯関係団体と防犯に関する啓発活動を実施し、犯罪情報等を広く市民に情報提供していることから社会的配慮は十分に行われていると考えます。

令和6年度 事務事業評価表

9069  
一般会計

事務事業名	地域防犯活動推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課	防犯対策強化推進係	阿部 亨

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・安全で安心して暮らせるまち		
	個別目標	暮らしの安全を守る		
	めざす成果	犯罪の不安を感じることなく暮らしている		
根拠法令	名 称	神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費	(単位：千円)		
市民、市民団体、事業者など		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	6,655	6,857	5,720
	人件費	9,740	5,369	6,526
目 的	総事業費	16,395	12,226	12,246
市民一人ひとりの自主防犯意識の高揚を図ります。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営・委託】		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		5,720
		合 計		5,720

3. 活動内容

活動指標 1	名称	防犯教室の実施回数			単位	回
	内容説明	市民を対象にした防犯教室の開催数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	25	25	25	
	実 績	11	29	---		
活動指標 2	名称	協働事業実施回数			単位	
	内容説明	協働事業により開催した事業の回数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	20	20	20	
	実 績	17	20	---		
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	II：見直しのうえで継続	6年度	II：見直しのうえで継続
	・大和警察署や防犯協会等の関係団体と連携を強化し、様々な媒体で防犯情報を広く市民へ周知するとともに各種パトロールを実施し安全で安心なまちづくりを推進します。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	安全で安心なまちづくりを推進していくには、市民、警察、市が一体となって取り組む必要があるため、市が関与する必要性は高いと考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。
	A	B	B	市民一人ひとりの防犯意識が高揚し、刑法犯認知件数や振り込め詐欺等の特殊詐欺発生件数の減少に繋がる効果的な啓発活動について検討が必要です。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	必要最低限の経費で実施していることから、適正な水準であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	市域全体を対象としているため、受益の公平性は適正であると考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市民、警察、市が協力、連携して事業を進めているため、社会的配慮は十分行われていると考えます。、

令和6年度 事務事業評価表

9070  
一般会計

事務事業名	防犯灯設置事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課	防犯対策強化推進係	阿部 亨

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・安全で安心して暮らせるまち		
	個別目標	暮らしの安全を守る		
	めざす成果	犯罪の不安を感じることなく暮らしている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和37年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市内全域		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
	事業費	50,106	56,119	43,478	
	人件費	4,108	7,295	8,833	
目 的	総事業費	54,214	63,414	52,311	
市民が夜間安心して街を歩けるようにします。	7年度事業費（予算額）財源内訳				
手段、手法【実施手法：直営】 防犯灯の設置及び維持管理を行っていきます。	国支出金			0	
	県支出金			0	
	市債			0	
	その他			0	
	一般財源			43,478	
	合 計			43,478	
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	防犯灯の設置数、器具交換数等		単位	灯
	内容説明	新設、撤去、照度アップした灯数（大和駅周辺事業分除く）			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	50	50	50
		実 績	59	44	---
成 果（効果・予測）	・夜間における地域住民の安心感を増大させます。				
活動指標 2	名称	防犯灯総数		単位	灯
	内容説明	3月末日現在の防犯灯総数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	13,513	13,582	13,616
		実 績	13,522	13,566	---
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			---
課 題	・今後の維持管理手法について検討が必要です。				
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			---

4. 今後の方針等				
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	6年度	I：現状のまま継続		
・市民の安全と体感治安向上を推進するため、今後も市防犯灯設置基準に基づいた整備を進めるとともに防犯灯の適正な維持管理に努めます。				

## 5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	防犯灯の整備は公共性が高いため、市が関与する必要性は高いと考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A : 十分に成果を上げている。
	A	A	A	犯罪抑止と体感治安向上につながる効果的な設置を推進しているため、十分に成果を上げていると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	電気料、修繕費用等、適正に維持管理しており、経費は適正であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	市内全域に設置しており、受益の公平性は適正であると考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	自治会等からの要望により、大和市防犯灯設置基準に基づき設置しているため、社会的配慮は十分に行っていると考えます。

令和6年度 事務事業評価表

9108  
一般会計

事務事業名	交通安全啓発事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課	交通安全・自転車対策係	阿部 亨

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・安全で安心して暮らせるまち		
	個別目標	暮らしの安全を守る		
	めざす成果	交通事故の不安を感じることなく暮らしている		
根拠法令	名 称	交通安全対策基本法		
	当該事業の法令等による義務付けの有無	有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和40年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	25,965	28,847	40,862
	人件費	9,763	10,382	17,687
目 的	交通安全意識を高め、事故を抑制します。	総事業費	35,728	39,229
手段、手法【実施手法：直営】	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		74
		一般財源		40,788
	合 計		40,862	

3. 活動内容

活動指標 1	名称	交通安全教室等開催回数			単位	件
	内容説明	市で開催する教室等の開催回数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	200	200	200	
	実 績	193	215	---		
活動指標 2	名称	交通安全教室等参加人数			単位	人
	内容説明	市で開催する教室等ののべ参加人数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	20,000	20,000	20,000	
	実 績	19,303	23,210	---		
活動指標 3	名称	TSマーク助成件数			単位	件
	内容説明	TSマーク助成申請件数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	150	150	150	
	実 績	83	79	---		
活動指標 4	名称	自転車ヘルメット助成件数			単位	件
	内容説明	自転車ヘルメット助成申請件数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	200	1,077	1,010	
	実 績	226	282	---		

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・交通事故を減らすため、幼児からシルバー世代まで幅広い年齢層に対して、各種交通安全教室を実施し、交通ルールやマナーの意識啓発を行います。 また、交通安全要望に対して適切に対応します。 【令和7年度より交通安全関係団体活動推進事業と統合】					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	交通事故を減少させるためには、幼少期から交通ルールやマナーを学び実践することが必要です。特に自転車交通事故多発地域である本市が学校や地域において自転車を中心とした各種交通安全教室の実施に関与することは必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。
	A	A	B	幼児・児童、中学生を対象とした交通安全教室を定期的実施することで、子どもが関わる事故の減少に寄与しております。交通ルールやマナーの意識啓発は継続的に行う必要があるため、今後も教室等を実施する必要があります。また、事故の危険個所に対する啓発看板の設置についても市民等の要望に応じた対応が必要です。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	交通安全教育を専門で担う交通安全教育員を配置することで効果的な交通安全教室を実施できており、交通安全要望に対応するために啓発看板等を設置できています。また、小学5年生から中学3年生までの全児童・生徒を対象とした自転車運転免許証付帯保険を保険会社との協定により安価で実現できています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	各世代ごとの各種交通安全教室を実施し、市民に対して広く交通安全教育ができています。また、市民からの交通安全要望に対応するため、啓発看板等の設置・撤去を行っています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	ホームページや広報やまと、デジタルサイネージ等など、様々な媒体を通じて、市民に交通安全に関する情報提供を行っています。

令和6年度 事務事業評価表

9112  
一般会計

事務事業名	放置自転車対策事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課	交通安全・自転車対策係	阿部 亨

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	誰もが移動しやすい都市をつくる		
	めざす成果	自転車を安全に快適に利用している		
根拠法令	名 称	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐輪対策の総合的推進に関する法律		
	当該事業の法令等による義務付けの有無	有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和59年度		設定無し	

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
・ 駅周辺の自転車等放置禁止区域		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
	事業費	36,544	44,825	42,164	
	人件費	3,004	3,461	6,152	
目 的	総事業費	39,548	48,286	48,316	
駅周辺に自転車等が放置されることを防止することにより、良好な生活環境を維持し、併せて災害時における活動スペースを確保します。	7年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0	
手段、手法【実施手法：直営】		県支出金		0	
		市債		0	
		その他		4,334	
		一般財源		37,830	
		合 計		42,164	
・ 駅周辺の自転車等の放置を防ぐため、適正駐輪の指導活動を実施します。 ・ 自転車等放置禁止区域に放置されている自転車等の移動、保管、返還を行います。	3. 活動内容				
	活動指標 1	名称	適正駐輪指導数	単位 枚	
成 果（効果・予測）	活動指標 1	内容説明	放置自転車・バイクへの年間指導札貼付数		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定	25,000	25,000
		実 績	19,957	16,798	---
・ 駅周辺の放置自転車等が減少します。 ・ 適正駐輪を促進し、自転車マナーが向上します。	活動指標 2	名称	放置自転車等の移動台数（放置禁止区域内）	単位 台	
		内容説明	年間移動台数		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定	500	500
実 績	420	426	---		
課 題	活動指標 3	名称	放置自転車等台数（日・平均）	単位 台	
		内容説明	放置されていた自転車等の台数		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定	20	20
実 績	17	17	---		
	活動指標 4	名称		単位	
		内容説明			
		指標値	5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定		
実 績			---		

4. 今後の方針等				
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	6年度	I：現状のまま継続		
・ 放置自転車を防止するために、交通安全巡視員等の立哨や放置自転車への警告、移動等を粘り強く継続して実施するとともに、駐輪スペースや自転車のシェアリング等で民間との連携を図ることで、適正な自転車利用の促進を進めます。 ・ シェアサイクルの実証実験について検証を行い、今後の方針について検討を行います。 【令和7年度より駐車場管理運営事業と統合します。】				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	駅周辺に自転車等が放置されることを防止することにより、良好な生活環境を保持し、併せて災害時における活動スペースを確保することが重要なためです。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A : 十分に成果を上げている。
	B	A	A	交通安全巡視員の指導及び周辺駐輪場への誘導、迅速・確実な移動等により放置自転車数が減少傾向にあります。新型コロナウイルス感染症5類指定以降、市民の外出機会が増えましたが、巡視員の指導等を継続したことで、前年度と同様の成果を維持しました。引き続き、今後の推移を注視し、必要に応じて対策を実施します。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	B : 経費を節減できる余地が一部ある。
	A	A	B	放置自転車対策全般に携わる交通安全巡視員及び駅周辺で指導警告を行う駅前常駐指導員を配置し、駅前等における自転車の放置を防止していますが、各駅の状況により適正な人員配置を検討します。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	放置自転車を防止することで、市民の往来が多い駅周辺における円滑な歩行空間の確保に努めています。また、違法駐輪者から移動保管料を徴収することで、公正な負担を実現しています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市民からの通報により、市内全域で市民参加の機会を十分に確保しています。自転車等放置禁止区域においては、立看板や路面標示により、市民への情報提供を行っています。また、放置自転車を移動することで、円滑な歩行空間の確保を図るとともに、適性な自転車利用を促進することで、環境負担軽減に努めました。

令和6年度 事務事業評価表

43277  
一般会計

事務事業名	大和駅周辺防犯特別対策事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課	防犯対策強化推進係	阿部 亨

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・安全で安心して暮らせるまち		
	個別目標	暮らしの安全を守る		
	めざす成果	犯罪の不安を感じることなく暮らしている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 有			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成31年度		設定無し	

2. 事務事業の概要				
対 象	大和駅周辺の市民等			
目 的	総事業費	(単位：千円)		
		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
手段、手法【実施手法：直営】	事業費	203	3,818	4,169
	人件費	4,495	6,533	5,764
「大和市客引き行為、つきまとい行為等の防止に関する条例」に基づき、安全安心指導員による指導、警告等を実施します。	総事業費	4,698	10,351	9,933
	7年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			4,169
	合 計			4,169

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	安全安心指導員による夜間パトロール回数		単位	回数
	内容説明	大和駅周辺における安全安心指導員による夜間パトロール			
指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
	予 定	0	134	146	
成 果（効果・予測）		5年度	6年度	7年度	
	実 績	0	134	---	
活動指標 2	名称			単位	
	内容説明				
指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
	予 定				
課 題		5年度	6年度	7年度	
	実 績			---	
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
	予 定				
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
	予 定				
		5年度	6年度	7年度	
	実 績			---	

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・安全安心指導員による夜間パトロールを通じて、客引き等の行為者に対する指導、警告等を実施するとともに、警察および防犯団体との合同による歓楽街パトロールにより大和駅周辺の客引き等行為の抑止に努めます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	公共の場所の防犯対策のため、市が関与する必要性は高いと考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	安全安心指導員による効果的な夜間パトロールの実施や商店会や警察、防犯団体との連携を強化し、有効な犯罪防止策、体感治安が向上する新たな取組みについて検討が必要であると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	必要最低限の経費で事業実施を行っているため、適正な水準であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	駅周辺を利用する市民等を対象としているため、受益の公平性は適正であると考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	各種対策の実施にあたっては、商店会や警察、防犯団体等の意見を参考に実施しているため、社会的配慮を十分に行っていると考えます。

令和6年度 事務事業評価表

9109  
一般会計

事務事業名	交通安全団体支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設部	市民生活あんぜん課	交通安全・自転車対策係	阿部 亨

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・安全で安心して暮らせるまち		
	個別目標	暮らしの安全を守る		
	めざす成果	交通事故の不安を感じることなく暮らしている		
根拠法令	名 称	交通安全対策基本法		
	当該事業の法令等による義務付けの有無 有			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和43年度		設定無し	

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民（事業者等含む）	事業費	5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
交付先：大和市交通安全対策協議会		3,445	3,352	3,606
	人件費	5,257	7,306	9,228
目 的	総事業費	8,702	10,658	12,834
交通安全意識の高揚と交通ルールやマナーの遵守について啓発し、交通安全対策を推進することで交通事故の防止を図ります。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営】 ・大和市交通安全対策協議会に補助金を交付します。	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	3,606		
	合 計	3,606		

3. 活動内容						
活動指標1	名称	交通安全街頭キャンペーン実施回数			単位	回
	内容説明	交通安全対策協議会で実施した街頭キャンペーン実施回数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	20	26	27	
実 績	25	27	---			
活動指標2	名称	交通安全対策協議会会議回数			単位	回
	内容説明	交通安全対策協議会で実施した会議回数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	5	5	5	
実 績	5	5	---			
活動指標3	名称	広報PR活動			単位	回
	内容説明	広報誌への各季運動周知記事				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	8	7	7	
実 績	8	6	---			
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
実 績			---			
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業の実施にあたっては、協議会委員である団体との連携が不可欠であるものの、団体数が多いことから、事務局として、各種の情報提供や事前調整を遅延なく正確に実施すること等により、継続的な連携が求められます。</li> </ul>					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	【令和6年度に実施した「大和市交通安全対策協議会支援事業」として評価】 協議会の構成組織を通じたポスター配布、様々な媒体による広報活動とともに、各季の交通安全運動街頭キャンペーンの実施等により、広く啓発活動を展開し、すべての市民に対する交通ルールの遵守、交通マナーの向上に取り組み、さらなる交通事故の減少に努めます。					

令和6年度 事務事業評価表

9110  
一般会計

事務事業名	交通安全関係団体活動推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課	交通安全・自転車対策係	阿部 亨

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・安全で安心して暮らせるまち		
	個別目標	暮らしの安全を守る		
	めざす成果	交通事故の不安を感じることなく暮らしている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和43年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市が事務局を担う、交通指導員、交通安全母の会会員、交通安全シルバーリーダー会員	事業費	5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
	人件費	4,136	4,367	0	
	総事業費	7,886	7,690	0	
目 的	7年度事業費（予算額）財源内訳				
活動の担い手を育成することで、交通安全意識を高め、事故を抑制します。	国支出金	0			
	県支出金	0			
	市債	0			
	その他	0			
	一般財源	0			
	合 計	0			
手段、手法【実施手法：直営】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各交通安全関係団体の事務局として、団体の育成を図ります。また、市内の交通安全の指導者の育成を通じて市内全域において家庭・地域から交通安全意識の高揚を図ります。</li> </ul>				
成 果（効果・予測）	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の各種イベントを通じて交通事故を防止します。</li> <li>家庭、地域における交通安全意識が高揚します。</li> <li>地域のシルバー世代に交通安全意識を浸透させ、交通事故を抑制します。</li> </ul>				
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	交通指導員年間延べ出勤人数		単位	人
	内容説明	市が要請した行事に限る交通指導員出勤人数			
	指標値	予 定	5年度	6年度（当該年度）	7年度
		実 績	200	200	200
	実 績	242	160	---	
活動指標 2	名称	交通安全母の会実施事業参加者数		単位	人
	内容説明	母の会連絡協議会主催事業・他団体協力事業			
	指標値	予 定	5年度	6年度（当該年度）	7年度
		実 績	800	800	800
	実 績	1,120	1,017	---	
活動指標 3	名称	シルバーリーダー実施事業参加者数		単位	人
	内容説明	研修会、高齢者街頭指導、シルバーリーダー主催交通安全教室			
	指標値	予 定	5年度	6年度（当該年度）	7年度
		実 績	1,400	150	150
	実 績	116	116	---	
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値	予 定	5年度	6年度（当該年度）	7年度
		実 績			
	実 績			---	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体における担い手の確保が難しくなっていると同時に、各団体構成員の高齢化が進んでいます。</li> <li>各団体の活動を広く市民に周知し、人材確保に努める必要があります。</li> </ul>				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	6年度	III：廃止または終了		
<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体の事務局として、適正な運営が図られるように支援を行います。</li> <li>交通安全教室や地域イベント等に各団体の交通ボランティアに参加いただくことにより、地域活動の活性化を目指すとともに、各団体の活動内容等について市民に広く周知を行うことにより、将来における担い手の確保につなげていきます。</li> <li>交通指導員の人材不足解消策として、公募を行い人材確保を図ります。</li> </ul> <p>【令和7年度より交通安全啓発事業に統合】</p>				

令和6年度 事務事業評価表

9113  
一般会計

事務事業名	駐輪場管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課	交通安全・自転車対策係	阿部 亨

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	誰もが移動しやすい都市をつくる		
	めざす成果	自転車を安全に快適に利用している		
根拠法令	名 称	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐輪対策の総合的推進に関する法律		
	当該事業の法令等による義務付けの有無 有			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和59年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	大和駅プロムナード自転車駐車場の利用者			
目 的	総事業費	(単位：千円)		
		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
手段、手法【実施手法：直営】	事業費	2,244	1,285	0
	人件費	3,004	3,461	0
適正な駐輪環境を確保し、駅周辺の自転車放置を防ぎます。	総事業費	5,248	4,746	0
	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
	一般財源		0	
	合 計			0
一時利用者（短時間利用）向けの利便性を図るため、大和駅周辺において、駐輪場を管理運営します。				

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	大和プロムナード自転車駐車場 1日当たりの利用台数		単位	台
	内容説明	年間利用台数／営業日数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	42	42	42
実 績	149	148	---		
活動指標 2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
実 績			---		
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
実 績			---		
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
実 績			---		
課 題	大和駅周辺にて適正に自転車を駐輪できる環境を確保するために、自転車駐車を維持する必要があります。				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	III：廃止または終了
	市営自転車駐車場においては、概ね良好な稼働率を維持しており、現状のまま継続していきます。 【令和7年度より放置自転車対策事業と統合します。】					

令和6年度 事務事業評価表

9116  
一般会計

事務事業名	大和綾瀬交通安全協会支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課	交通安全・自転車対策係	阿部 亨

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・安全で安心して暮らせるまち		
	個別目標	暮らしの安全を守る		
	めざす成果	交通事故の不安を感じることなく暮らしている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和46年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
交付先：大和綾瀬交通安全協会		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	163	163	0
	人件費	751	1,154	0
目 的	総事業費	914	1,317	0
協会の各種交通安全運動の円滑な実施を支援するとともに市の交通施策との連携を強化します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			0
	合 計			0
手段、手法【実施手法：直営】	大和綾瀬交通安全協会へ補助金を交付します。			

3. 活動内容

活動指標 1	名称	会議出席回数			単位	回
	内容説明	大和綾瀬交通安全協会主催の会議等への参加				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	2	2	2	
	実 績	1	1	---		
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		
課 題	各季交通安全運動街頭キャンペーン等における人員の動員をはじめ、啓発品支援や広報活動など、交通安全施策における様々な協力、連携を継続的に進めていく必要があります。					

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	Ⅲ：廃止または終了
	大和綾瀬交通安全協会から、交通安全母の会、シルバーリーダーといった交通安全団体への育成費の支援やランドセルカバーの協賛、啓発物品の提供を受けるとともに、同協会の広報活動の支援を行うなど、互いに協力関係を構築しています。今後も引き続き強固な連携をとることで、市域全体での交通安全意識の醸成を図っていきます。 【令和7年度より交通安全関係団体支援事業に統合】					

令和6年度 事務事業評価表

33177  
一般会計

事務事業名	街頭防犯カメラ等維持管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課	防犯対策強化推進係	阿部 亨

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・安全で安心して暮らせるまち		
	個別目標	暮らしの安全を守る		
	めざす成果	犯罪の不安を感じることなく暮らしている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成21年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民等		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	34,207	22,479	24,333
	人件費	1,115	2,307	7,302
目 的	総事業費	35,322	24,786	31,635
市内における犯罪発生を抑止及び市民等の体感治安の向上を図ります。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 ・設置した街頭防犯カメラの維持管理を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		24,333
		合 計		24,333

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	街頭防犯カメラの維持管理数		単位	台
	内容説明	街頭防犯カメラの維持管理数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	911	914	914
	実 績	911	914	---	
活動指標 2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
	実 績			---	
課 題	・老朽化等による不具合の発生が予見されるため、適切な維持管理手法について検討が必要です。				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・街頭防犯カメラの経年劣化への対策や効果的な保守管理手法について、継続して検討を行います。					

令和6年度 事務事業評価表

47118  
一般会計

事務事業名	街頭防犯カメラ整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課	防犯対策強化推進係	阿部 亨

<b>1. 位置づけ・事務事業の期間</b>				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・安全で安心して暮らせるまち		
	個別目標	暮らしの安全を守る		
	めざす成果	犯罪の不安を感じることなく暮らしている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成21年度			設定無し

<b>2. 事務事業の概要</b>					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市民等		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
	事業費	745	7,855	0	
	人件費	1,115	2,307	0	
目 的	総事業費	1,860	10,162	0	
街頭における犯罪の発生抑止及び市民等の体感治安の向上を図ります。	7年度事業費（予算額）財源内訳				
	国支出金			0	
	県支出金			0	
	市債			0	
	その他			0	
	一般財源			0	
	合 計			0	
手段、手法【実施手法：直営】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不特定多数の人が往来する公共の場所へ、街頭防犯カメラを設置します。</li> <li>・設置箇所には、看板などで防犯カメラが作動していることを知らせ、犯罪の抑止効果を高めます。</li> <li>・設置したカメラは、個人情報の取り扱いなどのソフト面に配慮し、適切に管理します。</li> </ul>				
成 果（効果・予測）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭防犯カメラの設置により、見守られているという安心感の醸成と体感治安の向上が図られます。</li> <li>・また、各種犯罪発生の抑止効果も期待が出来ます。</li> </ul>				
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の新設にあたっては、設置後の経年劣化への対策や効果的な保守管理手法を踏まえた検討が必要です。</li> </ul>				
	活動指標 1	名称	街頭防犯カメラの新設数	単位 台	
		内容説明	公共の場所への街頭防犯カメラの新設数台		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	0	3	0
		実 績	0	3	---
	活動指標 2	名称		単位	
		内容説明			
		指標値	5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			---
	活動指標 3	名称		単位	
		内容説明			
		指標値	5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			---
	活動指標 4	名称		単位	
		内容説明			
		指標値	5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			---

<b>4. 今後の方針等</b>						
今後の方針等	4年度	—	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	今後の新設にあたっては、課題となっている街頭防犯カメラの経年劣化への対策や効果的な保守管理手法を踏まえ、継続して検討を進めます。					